

タグマネージャは、サイトそのものに手を入れること無く、「どのページでどのような条件のもと、何のタグを配信させるか」を一元管理できる便利なツールです。

ただし、ご設定方法が通常のタグの取り出し方とは異なりますので、本資料をご参照の上でタグを設定してください。

※本マニュアルはウェブアンテナのタグ設置用です。ユーザグラムのタグ設置については、当該マニュアルをご参照ください。

※本マニュアルの内容は、2017年1月末日時点のものです。今後 Google タグマネージャのインターフェースや仕様が変更され、操作方法が変わる可能性もありますのでご了承ください。

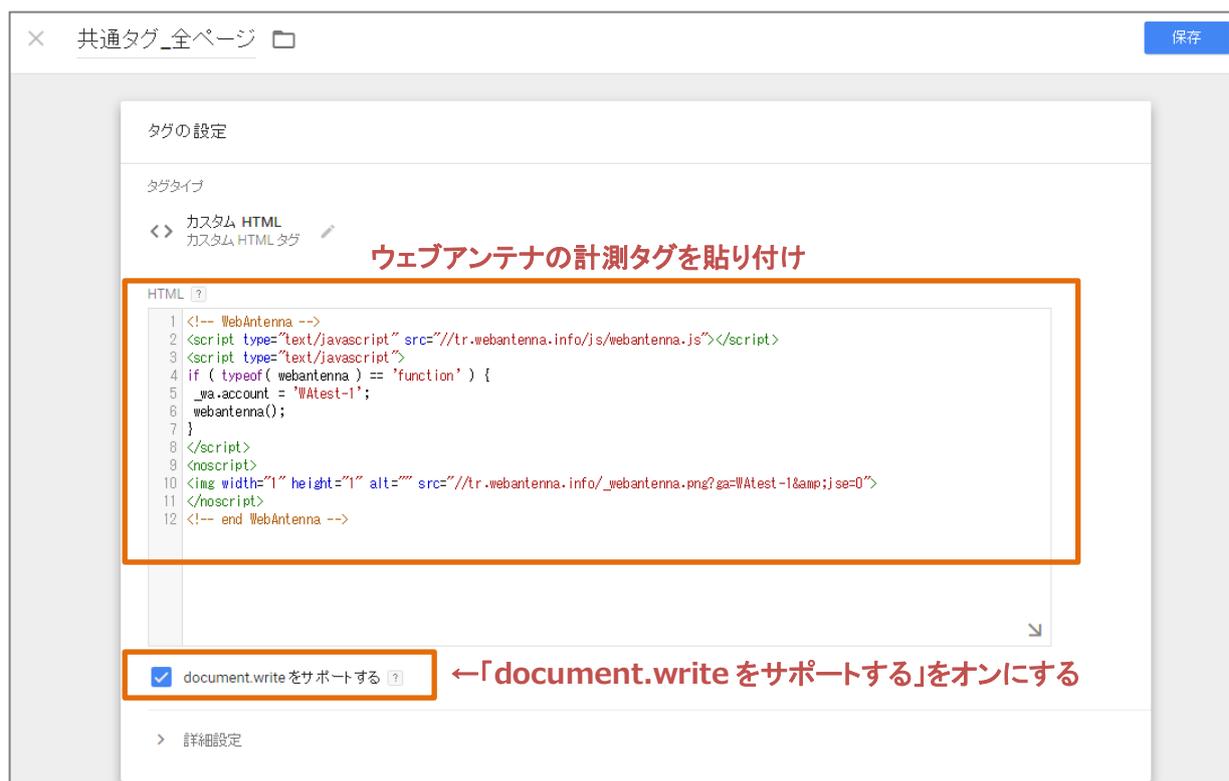
タグの設定方法

手順 1: 「カスタム HTML タグ」からタグを設定する

まず、タグタイプを選択する際に「カスタム HTML」を選びます。



タグの設定画面が開くので、「HTML」欄にウェブアンテナで発行されたタグを直接貼り付けて保存すれば設定が完了します。このとき、「document.write をサポートする」をオンにしてください。オンにしないと、同じページに複数のタグを設置したときに、計測が上がらない恐れがあります。



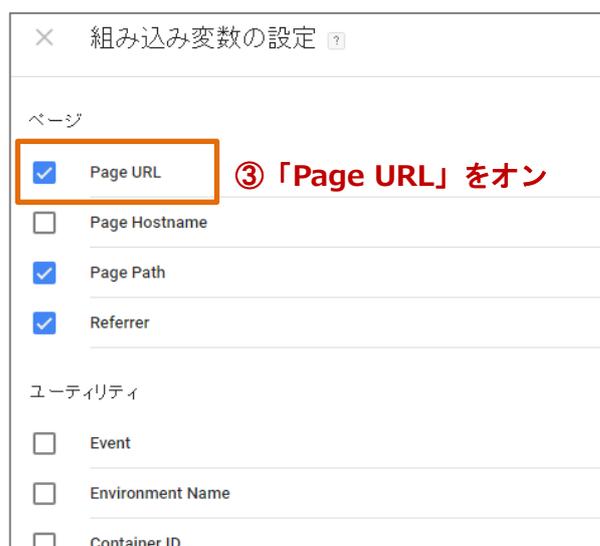
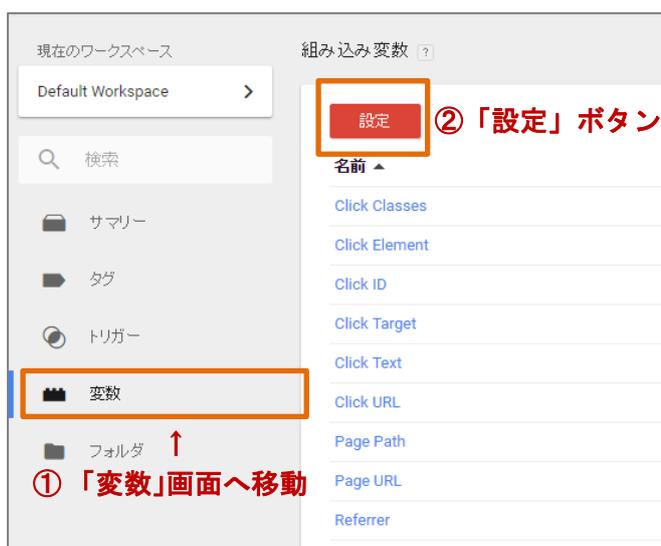
手順 2: トリガーでタグを配信する URL を設定する

次にトリガーを設定します。トリガーの種類を「ページビュー」、トリガーの発生場所を「一部のページビュー」とします。(Google タグマネージャで管理しているページの範囲と、ウェブアンテナで計測するページの範囲が一致している場合は、「すべてのページビュー」を選んで構いません)

「一部のページビュー」を選んだ場合、URL の指定が必要です。一番左のプルダウンでは「Page URL」を選び、中央のプルダウンと一番右のテキストボックスで対象となる URL を指定します。条件を変えることで、柔軟な指定も可能です。



「Page URL」がプルダウンの中に入っていない場合は、「変数」の画面に移動し、「組み込み変数」欄にある「設定」ボタンを押して「Page URL」のチェックをオンにしてください。



手順 3: タグが正常に配信されるか確認する

設定が完了したら、「プレビューモード」をオンにし、実際のページで必要なタグが配信されているかを確認するなど、正しくタグが配信されているかどうかをご確認ください。

コンバージョン属性の取得方法

Google タグマネージャで、コンバージョン属性を取得する場合、タグマネージャの機能でタグに値を埋め込む必要があります。

この機能は、Google タグマネージャでは「変数」と呼ばれています。以下に簡単な手順をご説明しますので、テスト環境などで十分にお試しの上、ご活用ください。

尚、各機能や操作の詳細については、Google タグマネージャのヘルプをご参照ください。

タグマネージャヘルプ : <https://support.google.com/tagmanager>

手順 1: ページ上に、埋め込みたい値を JavaScript 変数で準備しておく

まず、Google タグマネージャが取得できるよう、完了ページの **HTML** ソース上に埋め込みたいコンバージョン属性の値を準備しておきます。

ここでは、一番簡単な方法として、以下のように JavaScript 変数として「**window.wa_xxx = 'value';**」という形で記述し準備しておく方法でご説明します。

```
<script type="text/javascript">  
  window.wa_userId = 'AB123';  
  window.wa_price = '1800'  
</script>
```

この例では、「wa_userId」という名前で会員 ID 「AB123」を、「wa_price」という名前で売上「1800 円」を準備しています。

※既にページ上に値が存在する場合、この手順を省いても、複雑なデータバインディングエクスプレッションを用いれば取得することは可能ですが、詳しくわからない場合はこの方法を推奨します

手順 2: Google タグマネージャ上で、「変数」を追加する

次に、Google タグマネージャの管理画面を開き、「変数」ページの「ユーザー定義変数」欄にある「新規」ボタンをクリックしてください。

左上の部分に任意の登録名を、「グローバル変数名」には手順 1 で設定した変数を入力してください。「変数の種類」は **Javascript 変数** を選択してください。

userid ←変数の登録名(任意の名前) 保存

変数の設定

変数の種類

JavaScript 変数 ← Javascript 変数を選択

グローバル変数名

wa_userid ←手順 1 で設定した変数

手順 3: タグに変数を埋め込む

設定するウェブアンテナコンバージョンタグの中に、コンバージョン属性として変数を埋め込みます。

手順 2 で画面左上に入力した変数の登録名を「`{{}}` (二重波かっこ)」で囲み、`'{{userId}}'` のような形で入力します。

```
1 <!-- WebAntenna -->
2 <script type="text/javascript" src="//tr.webantenna.info/js/webantenna.js"></script>
3 <script type="text/javascript">
4 if ( typeof( webantenna ) == 'function' ) {
5   _wa.account = 'WAtest-1';
6   _wa.cv = 'gtm_test_complete';
7   _wa.parameters[ 'userId' ] = '{{userId}}'; ←手順 2 で設定した登録名
8   _wa.parameters[ 'price' ] = '{{price}}';
9   webantenna();
10 }
11 </script>
12 <noscript>
13 
15 </noscript>
16 <!-- end WebAntenna -->
```

複数のコンバージョン属性を取得したい場合は、以上の手順 2～手順 3 をコンバージョン属性の数だけ繰り返してください。

全て入力が終わったら、保存して設定完了です。実際にコンバージョン属性が取得できているか、「計測タグの設置と動作確認マニュアル」を参照し確認してください。

イベントを計測する（リンククリックの場合）

本項では、特定のリンクをクリックすること（リンククリック）を CV として計測したい場合の例について解説します。

イベントを計測する場合、その内容に応じて、Google タグマネージャ上で異なる条件設定が必要となります。その他のイベントについては、Google タグマネージャのヘルプをご参照ください。

タグマネージャヘルプ：<https://support.google.com/tagmanager>

※イベント計測の際は、Google タグマネージャの設定方法について詳しい知識が必要となります。ご不安な場合は、該当のタグだけはページに直接設置することをご検討ください。

注意点

▶ ページ遷移のあるリンククリックは、別タブで開くようにする

ウェブアンテナの仕様上、ページ遷移のあるリンククリックは、リンク先が別タブで開く形式でなければ計測することができません。ページ遷移が起こるか・遷移先のページはどのように開くかを事前にご確認ください。

<ul style="list-style-type: none">ページ遷移なし	→ ○ 計測できる
<ul style="list-style-type: none">ページ遷移あり遷移先のページは別タブで開く	→ ○ 計測できる
<ul style="list-style-type: none">ページ遷移あり遷移先のページは同じタブで開く	→ ✕ 計測できない

リンククリックを別タブで開くようにするには、下記のように該当する<a>タグに、**target="_blank"**属性を追加します。

```
<a id="onclick_id" target="_blank" href="https://xxxxxx.co.jp/yyyyy.html">リンク</a>
```

ただし、別タブで開くことで、ユーザがウェブサイトを利用する際の体験を損ねてしまう場合もございます。別タブで開くことでユーザに悪影響を及ぼさないか、事前に検討しておくことを推奨いたします。

手順 1: 計測したいリンクに id/class を振る

Google タグマネージャ上でイベント条件を設定するには、そのイベントに関わるページ内要素を Google タグマネージャが識別できるようにする必要があります。

リンクのクリックを計測する場合、計測したいリンク部分の HTML 要素の中に、`id="●●"`または `class="●●"`という記述を付け加えます。(●●の部分には識別用に任意の名前を指定してください)

以下の例では、リンクに `onclick_id` という id をつけています。

```
<a id="onclick_id" target="_blank" href="https://xxxxxx.co.jp/yyyyy.html">リンク</a>
```

注意点

- イベント計測用の id/class 名は、計測したい要素のみに付与する

手順 1 で指定した id または class の名前が目的外の要素に記述されていると、その要素がクリックされたときにもタグが配信され、計測数値が上振れしてしまいます。特に既存の id または class 名を流用される場合はご注意ください。

手順 2: トリガーでイベント計測の条件を設定する

次に、イベントを計測するためのトリガーを作ります。リンククリックの場合、「手順 1 で指定された id または class を持つリンクがクリックされた場合」という条件を指定する必要があります。

トリガーの種類を「クリック-リンクのみ」、発生場所を「一部のリンククリック」とします。

「タグの配信を待つ」「検証をチェック」は、「？」マークを押して表示されるヘルプを参照し、必要に応じてチェックを入れてください。チェックを入れた場合、その下の入力欄にタグを配信する URL を入力してください。

次に最下部の入力欄に、イベントの条件を入力します。一番左のプルダウンでは、手順 1 で id を指定した場合は「Click ID」、class を指定した場合は「Click Classes」を選択します。中央のプルダウンは「等しい」とし、一番右のテキストボックスに、手順 1 で指定した id または class を入力してください。

Click ID または Click Classes がプルダウンの中にない場合は、「変数」画面に移動し、「組み込み変数」欄にある「設定」ボタンを押して、Click ID または Click Classes のチェックをオンにしてください。(本マニュアル内「タグの設定方法」の手順 2 もご参照ください)

トリガーの設定

トリガーの種類

クリック-リンクのみ

タグの配信を待つ

待ち時間の上限

2000 ミリ秒

検証をチェック

【タグの配信を待つまたは [妥当性をチェック] が指定されています。
このトリガーは必要なページでのみ有効にし、変更内容をテストしてから公開することをおすすめします。詳細
*配信するページ URL を記載(上にチェックを入れたときのみ表示される)

すべての条件が true の場合にこのトリガーを有効化

Page URL 含む https://xxxxxx.co.jp/yyyyyy.html

このトリガーの発生場所

すべてのリンククリック 一部のリンククリック

↓ Click ID または Click Classes

↓ 手順 1 で指定した id または class

イベント発生時にこれらすべての条件が true の場合にこのトリガーを配信します

Click ID 等しい onclick_id

全て入力が終わったら、保存して設定完了です。指定したイベントが発生するタイミングで実際にタグが動作するか、「計測タグの設置と動作確認方法」マニュアルを参照し確認してください。

つまづきやすいポイント

タグを設定してもうまく動作しない場合、以下のような点をご確認ください。

配信先ページに、「スニペットタグ」は埋まっていますか？

Google タグマネージャ上で配信設定を行っても、配信先のページ自体に Google タグマネージャの「スニペットタグ」が設置されていない限り、タグは配信されません。

例えば、PC サイトでは「スニペットタグ」を設置していても、スマートフォンサイトには設置していない、といった場合もございますのでお気を付けください。

トリガーの配信条件設定は間違っていますか？

トリガーの配信条件設定が間違っている場合、タグは配信されません。

例えば、次のような場合に想定通りタグが配信されないことがあります。条件指定で「等しい」「含む」「先頭が一致」などを使い分ける、あるいは正規表現を使って指定するなどの方法で、正しく URL パターンを設定してください。

- ・ 「**https**」のページに、「**http**」の URL パターンを設定してしまった
- ・ Google Analytics などの計測パラメータが付いた結果、「等しい」で設定した URL とは異なる URL でアクセスされていた

タグは有効になっていますか？

Google タグマネージャ上では、タグを追加した直後は「**編集中**」の状態になり、これを「**公開**」しなければ配信されません。

尚、「**プレビューモード**」になっている場合は、Google タグマネージャを管理している自分だけには配信されるのに、一般ユーザがアクセスしたときは配信されないといった状況も起こりますのでお気を付けください。

同じ URL でも内容が違うページはありませんか？

例えば申込フォームの「**確認ページ**」と「**完了ページ**」等、URL は同じでも内容が異なり、配信したいタグも異なる場合があります。

こういった場合は、単純に URL のみでは条件を設定できないため、別途設定が必要です。詳しくは Google タグマネージャのヘルプをご参照ください。

タグマネージャヘルプ：<https://support.google.com/tagmanager>

同じページに Google タグマネージャと直接設置が混ざっていませんか？

同じページに、Google タグマネージャで配信されるウェブアンテナのタグと、直接設置したウェブアンテナのタグが混在する場合、環境によっては片方がうまく動作しなくなる場合があります。

例えば、入口ページタグは Google タグマネージャを使って一括配信しているが、コンバージョンタグは直接設置している場合等が考えられます。

こういった場合は、該当ページへは**全て直接設置**するか、Google タグマネージャ上で該当ページを「**対象外 URL**」に追加して除外するなどして、同じページへのウェブアンテナタグ配信方法が混在しないようにしてください。

Google タグマネージャご利用上の注意

gtm-msr によるアクセスについて

Google タグマネージャでタグを設置すると、稀に「gtm-msr」という、Google 社による自動アクセスが計上されるという報告があります。このアクセスは、場合によってはコンバージョンまでたどり着いてしまい、成果として計上されてしまう恐れがございます。

ウェブアンテナの画面上では、「その他流入」タブにおいて「入口ページ単位」で数値を見ると、入口ページタイトルに「gtm-msr」、入口ページ URL に「gtm-msr.appspot.com」ドメインの URL が表示されます。



The screenshot shows a table of traffic data in Google Analytics. The table has six columns: '流入元ページ' (Referring Page), '入口ページタイトル' (Entry Page Title), '入口ページ' (Entry Page), 'クリック数' (Clicks), '直接CV (合計)' (Direct Conversion Rate (Total)), and '直接CVR[%] (合計)' (Direct Conversion Rate (Total)). The first row is highlighted with an orange border and shows 'リファラなし' (Referring Page: None), 'gtm-msr' (Entry Page Title), 'gtm-msr.app' (Entry Page), 64 clicks, 74 conversions, and a 115.63% conversion rate. Other rows show traffic from 'webantenna.' and 'wabebit.com'.

流入元ページ	入口ページ タイトル	入口ページ	クリック数	直接CV (合計)	直接CVR[%] (合計)
リファラなし	gtm-msr	gtm-msr.app	64	74	115.63
リファラなし		webantenna.	5	5	100.00
cdn.ampproject.org/v/webantenna.jp/tsupport.		webantenna.	2	2	100.00
リファラなし	ビービット テスト用アカウ	wabebit.com	2	0	0.00
リファラなし	ビービット GTMテスト用タ	wabebit.com	1	0	0.00
合計			74	81	109.46

弊社で調査をいたしました。これは Google タグマネージャの仕様によるものと考えられ、ウェブアンテナ上の設定では管理画面から除外することができません。

お手数ですが、集計時に上記の値を除いて分析していただくよう、ご承知おきください。

お問い合わせ先

Google タグマネージャでウェブアンテナのタグを追加する方法等、ウェブアンテナにかかわる内容は弊社サポート窓口までお問い合わせください。

ウェブアンテナサポート窓口

営業時間: 午前 10 時～午後 7 時
(土日・祝日・年末年始除く)

Tel: 03-5210-3894

Email: wa_support@bebit.com

その他、Google タグマネージャに関する詳細な内容は、Google 社にお問い合わせ頂くか、Google 社のヘルプセンターをご参照ください。

タグマネージャヘルプ : <https://support.google.com/tagmanager>